

【プレスリリース】

2022年10月13日

報道関係者各位

株式会社 オリイ研究所
バイオジェン・ジャパン株式会社

オリイ研究所とバイオジェン・ジャパン
分身ロボットカフェ「期間限定地域キャラバンカフェ」にて
特別支援学校生徒向けの遠隔就労体験プログラムを実施
～重度肢体障がいをもつ子供たちのキャリア教育に一石～



※写真は昨年実施のもの

分身ロボット「OriHime」(オリヒメ)の開発・提供を手掛ける株式会社オリイ研究所(本社:東京都中央区、代表取締役:吉藤健太郎 以下、オリイ研究所)と、神経科学領域における医薬品開発のパイオニアであるバイオジェン・ジャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:ニコラス・R・ジョーンズ 以下、バイオジェン・ジャパン)は、難病や重度障がいなどで外出困難な方が分身ロボットを操作して接客を行う「分身ロボットカフェDAWN ver.β(ドーン バージョンベータ)」の期間限定地域キャラバン店において、重度肢体障がいを持つ生徒達のための「遠隔就労体験プログラム」を実施することを決めました。

障がいを持つ生徒のための特別な配慮を行う専門の教育施設として特別支援学校がありますが、肢体障がいを持つ卒業生の進路は他の障害を持つ卒業生と比べても福祉施設への入所や通所する割合が非常に高く、就職や進学といった道を選択するケースが非常に低いことが問題となっています。

(次頁の表参照)

令和2年(2020年3月)の特別支援学校卒業後の進路

	合計	進学者	就職者	社会福祉施設 入所・通所者	その他
令和2年3月卒業生合計	22,515	714	7,204	13,662	935
		3.2%	32.0%	60.7%	4.2%
視覚障害	217	89	16	96	16
		41.0%	7.4%	44.2%	7.4%
聴覚障害	470	184	183	85	18
		39.1%	38.9%	18.1%	3.8%
知的障害	19,654	335	6,818	11,744	757
		1.7%	34.7%	59.8%	3.9%
肢体不自由	1,799	61	112	1,530	96
		3.4%	6.2%	85.0%	5.3%
病弱・身体虚弱	375	45	75	207	48
		12.0%	20.0%	55.2%	12.8%

文部科学省「学校基本調査」より

オリィ研究所ではこうした状況を打破すべく、昨年度、重度肢体不自由の生徒向けにOriHimeを使った遠隔就労体験の受け入れを東京・日本橋の「分身ロボットカフェ」にて実験的に行いました。これにより、生徒自身に限らずそのご家族、教育現場の先生までもが本人の具体的なキャリアイメージについて考えるきっかけとなったため、バイオジェン・ジャパンの支援を受け、引き続き今年度もプログラムの実施を決めました。(写真は昨年実施時のもの)



本年度のプログラム実施については、すでに東京・日本橋の分身ロボットカフェで働いている「先輩パイロット」と、今回初めて遠隔就労体験にチャレンジする特別支援学校の生徒がチームになって研修を積み、11月12日から地元福岡で開催される「分身ロボットカフェ in 福岡」でのデビューを目指します。(具体的な研修のイメージは次ページ参照)

今回キャラバンカフェが開催される福岡県と北海道では、いずれも昨年度に日本橋の分身ロボットカフェへの特別支援学校生徒の遠隔就労体験受け入れプログラムを実施しており、2年目となる今年度はバイオジェン・ジャパンの支援を受けて2エリア合計で約20人の生徒の受け入れを予定しています。

バイオジェン・ジャパンは2年連続で「分身ロボットカフェプロジェクト」に特別協賛企業として名を連ねており、加えて今年度はこの特別支援学校の遠隔就労体験プログラムの取り組みへの初参画を決めました。

「分身ロボットカフェ期間限定地域キャラバン店」開催決定リリースに関してはこちら
[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000049.000019066.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000049.000019066.html) [prtimes.jp]

【参考】OriHimeを活用した遠隔就労体験の仕組み

OriHimeを活用した遠隔就労体験



学校 or 自宅
参加生徒はスマホ、タブレットやPCから
OriHimeを遠隔操作



日本橋分身ロボットカフェ
生徒はOriHimeを遠隔操作し、
先輩パイロットからトレーニングを受ける



福岡キャラバンカフェ
パイロットデビュー！
実際にお客様をおもてなしします

実施イメージ



参加生徒はスマホ、
タブレット、PCからOriHimeを
操作します。
操作アプリを通してお店の映
像が見え、現地にいる人と会
話ができます。



【株式会社オリイ研究所について】

「人類の孤独をリレーションテックで解決する」をミッションとし、遠隔操作でありながら「その場にいる存在感」を共有できる分身ロボット「OriHime(オリヒメ)」を中心としたロボットの製造、および分身ロボットを活用した就労支援サービス「AVATAR GUILD(アバターギルド)」の提供を行なっています。

他プロダクトとしては、テレワークでの肉体的社会参加を可能にする分身ロボット「OriHime-D(オリヒメディー)」、重度障害があっても目や指先などの僅かな動きだけでコミュニケーションを可能にする意志伝達装置「OriHime eye+Switch(オリヒメアイプラススイッチ)」など。

株式会社オリイ研究所 公式HP <https://orylab.com/>

※「OriHime」「分身ロボットカフェ」は株式会社オリイ研究所の登録商標です。

【バイオジェンについて】

神経科学領域のバイオニアであるバイオジェンは、最先端の医学と科学を通じて、重篤な神経学的疾患、神経変性疾患の革新的な治療法の発見および開発を行い、その成果を世界中の患者さんに提供しています。1978年にチャールズ・ワイスマン、ハインツ・シェイラー、ケネス・マレー、ノーベル賞受賞者であるウォルター・ギルバートとフィリップ・シャープにより設立されたバイオジェンは、世界で歴史のあるバイオテクノロジー企業のひとつです。バイオジェンは多発性硬化症の領域をリードする製品ポートフォリオを持ち、脊髄性筋萎縮症の最初の治療薬を製品化し、アルツハイマー病の病理に作用する最初で唯一の治療薬を提供しています。また、生物製剤の高い技術力を活かしてバイオシミラーの製品化を行い、業界内で最も多様な神経科学領域のパイプラインに注力し、進展させており、アンメットニーズが高い疾患領域の患者さんの治療水準に変化をもたらしています。

2020年、バイオジェンは、気候、健康、公平さが深く相互に関連する課題に対して、20年間に2億5000万ドルを投資する大規模な取組みを開始しました。Healthy Climate, Healthy Lives™は、ビジネス全体で化石燃料の使用をゼロにし、著名な研究機関とのコラボレーションを構築して科学研究を進展させ、人類の健康を改善し、発展途上のコミュニティをサポートすることを目的としています。

バイオジェンに関する情報については、<https://www.biogen.com/> およびSNS媒体[Twitter](#), [LinkedIn](#), [Facebook](#), [YouTube](#)をご覧ください。

バイオジェン・ジャパンは、米国バイオジェンの日本法人です。世界で有数の歴史のある独立系バイオテクノロジー企業の日本法人として、日本では2000年より事業を展開しています。「神経科学の不可能を、可能に。」をビジョンに掲げ、日本の患者さんにも革新的な医薬品やより良い治療環境を提供すべく活動を展開しています。

バイオジェン・ジャパンに関する情報については、<https://www.biogen.co.jp/>、およびSNS媒体[Facebook](#), [Twitter](#), [Instagram](#), [YouTube](#), [LinkedIn](#), [LINE](#)をご覧ください。

報道関係者お問合せ先

バイオジェン・ジャパン株式会社 広報・CSR本部 本部長 三井 貴子 Email: Japan-PA@biogen.com 携帯:070-1501-4315 TEL:03-3275-1745	株式会社オリイ研究所 問い合わせ先:pr@orylab.com 広報担当:濱口敬子
--	---